

今回は、「よくある社員の間違い行動」という小冊子からです。

### 段取りが悪く、バタバタを仕事だと思っている？

「段取りが悪いから、こういうことになるんだよ。段取り八分（はちぶ）って言うだろ！もっと考えて仕事を進めなさい！」上司からこんなふうにはらされた経験のある人は、少なくないだろう。確かに自分の段取り不足だったことはわかる。でも、「ちゃんと考えて段取りするとは、具体的にどういうことだろう？」そんな疑問をもつ人もいると思う。これから、その「ちゃんと段取りする」について考えてみたい。結論から言うと、「きれいさちこ行動」をすればいいのだ。段取りには、6つの行動が必要となる①聞いておくこと ②連絡しておくこと ③依頼しておくこと ④作業すること ⑤調査しておくこと ⑥交渉しておくこと それぞれの頭文字をとって並べると「き・れ・い・さ・ち・こ」となる。話しは脱線するが「きれいなさちこさん」という女性をイメージすると覚えやすい。ある仕事の段取りを考えるとする。まずは、思いつくままにやっておくことをリストアップしてみる。これ以上、もうないなあ？そんな段階まで考える。次に、抜けがないかチェックだ。その時に威力を発揮するのが、この「きれいさちこ行動」なのである。

- ① 誰かに聞いておくことで抜けはないか？
- ② 誰かにひとこと連絡しておくことで抜けはないか？
- ③ 誰かに依頼しておくことで抜けはないか？
- ④ 自分で作業することはないか？
- ⑤ 何か調査しておいた方がいいことはないか？
- ⑥ 誰かに交渉しておいた方がいいことはないか？

こういった視点から、抜けている行動を補足し、段取りを完璧にする。そしてリストアップが終わって、いざ行動！という時に注意しなければならないことがある。それは、④から行動せずに①、②、③、⑥の対人の行動から始めることだ。①の誰かに聞いてみたら、④や⑤がいらなくなる場合だってある。仕事のすすめ方が良くない人ほど、④や⑤から取りかかる傾向がある。上司・同僚・他部門など周囲の力をうまく使えないのである。仕事にとりかかる前に、10分間だけ「きれいさちこ行動」の視点で、ウンウンうなって考えてみよう！あなたの段取り力は、格段にアップするはずだ。

段取りをちゃんとするには、どのような行動が良いですか？

( ) 行動

段取りをするのに6つのやることはなんですか？

- ① ( )
- ② ( )
- ③ ( )
- ④ ( )
- ⑤ ( )
- ⑥ ( )